

● 銅製鰐口

室町幕府創立の直後^{ちゆうぞう}鑄造寄進されたもので、その銘に「康暦3年(1381)2月17日鑄造石川村牧村善勝寺堂住大且那広光」とある。面径48.5cm、重量5kgと県下でも珍らしく価値の高い鰐口である。



● 鉄製釣燈籠

この鉄製釣燈籠は六角形^{れんげざ}で蓮華座の上にある宝珠^{ほうじゆ}、花形の笠、雲形の脚の線が美しく、各面上欄に花形の打ち抜き模様があり周囲の各面には蓮華座の上にかたばみ紋、その上に2燕^{えん}が相対している。扉に「天文20天(1551)雪下政次作」の銘がある。会津の代表的釣燈籠である。